



白子町と印西市で出前あすなろ塾を開催しました。白子町と印西市ともに「保護者との関係づくり ～生徒指導・保護者対応のケース演習～」と「分かる・できる授業づくり」をテーマに研修を実施しました。先生方が互いに対話をし、それぞれもっている課題や情報を共有し合うことで、自身の考えを広げ深める研修となりました。

白子町（令和6年7月24日）

当日の様子と
参加者の声



保護者の方との信頼関係を得るために正しい対応をすることはもちろんですが、子供たちにとって分かる・できる授業を作っていくことも信頼される教員になると思いました。

教師として、子供たちのために何を返せるのかを考えながら今日受けた講義の内容を生かしていきたいです。保護者対応でも、学習面でも1番は子供のこと、子供をとりまく環境のことを考えていきたいです。

養護教諭の立場のため、授業づくりの研修へ参加する機会が少なかったです。実際には保健指導など授業をすることもあり、悩んでいましたが、ICTや思考ツールを活用し互いに学べる授業を展開していこうと思いました。



印西市（令和6年7月25日）

当日の様子と
参加者の声



学年や部活動での活動で保護者と関わりを持つことが多いので、日常的にコミュニケーションをとるなど、意識して関係を作っていきたいです。授業作りにおいては、思考ツールを上手く活用し、文章にまとめることが苦手な生徒への支援など様々な場面で効果的に使えるよう、授業研究を行っていきたいです。

近年少しずつ変化している授業の組み方や保護者対応について、改めて確認することができて良かったです。

研修を受けて、保護者とこまめに連絡を取り、保護者に納得してもらうことの大切さがわかりました。また、思考ツールを活用すると、何を書くのか、考えるのかが、とても明確になることを実感し、よりよい授業を行うために活用していきたいと思いました。

